

「グロリア・デ・ドウラドス市立小学校施設改修計画」 供与式



市の音楽隊及び同校の生徒

2006年8月8日、南マト・グロッソ州グロリア・デ・ドウラドス市のマリーニャ・ド・ブラジル市立小学校にて、同校に対する施設改修及び機材購入の供与式が行われました。式典には、当館から丸橋次郎首席領事、同市からヴェラ・バウル市長をはじめとして、政府関係者、学校の教師、生徒及び父兄の方々等が約 100 名出席しました。



式典後の記念プレートの除幕式
丸橋首席領事及びバウル市長

市長等に出迎えられ、丸橋首席は学校玄関前で市の音楽隊による歓迎を受けました。

式典では、クリスティーナ・ダ・シルヴァ校長が日本政府・国民のお陰で夢が実現したことに感激していると述べました。

ロベルト・マスコ副市長は本プロジェクトの概要を紹介し、このたびの支援は日系人にとって誇りであるとし、日本政府への深甚なる謝意を表しました。

バウル市長からは今日の支援で生徒の勉学意欲が高まり、教師にとり勤務環境の著しい改善が見られたことを紹介しつつ日本政府・国民に対して深謝したいとの挨拶がありました。

丸橋首席領事より 2008 年に百周年を迎える日本移民の先駆者が自らを犠牲にしつつも、子弟への教育に力を注ぎ、ブラジル社会から尊敬される今日の日系社会を築き上げられたことに触れ、国家の発展にとり最も大切な条件である教育分野で支援できたことを嬉しく思うと述べました。

これらの関係者の挨拶に引き続いて、生徒代表



新設教室に備え付けられた机、椅子、戸棚

より感謝の言葉の発表、記念プレート除幕及び施設の見学がありました。

○上記案件のプロフィール

案件名：「グロリア・デ・ドウラドス市立小学校施設改修計画」

被供与団体：グロリア・デ・ドウラドス市

契約署名日：2005年11月22日

供与限度額：93,337米ドル



マリーニャ・ド・ブラジル
市立小学校校庭
雨を防ぐ校庭の屋根

案件概要：グロリア・デ・ドウラドス市(人口約1万人)は、南マト・グロッソ州都カンボ・グランデ市から約260キロ南の農業地帯に位置しています。同市のマリーニャ・ド・ブラジル市立小学校は低所得層の住民約2千人が住む地区の学校で、就学できない児童が90名程度いますが、校舎が手狭で対応できていません。また、同校舎は事務棟、教室、調理室、トイレ、等がそれぞれ離れて建っており、部分的に屋根はついているものの、降雨時にはトイレに行くにも濡れてしまう状況でした。これらの施設を改修し、教室を増設して、同校の学習環境の整備を実施しました。